

科 目 名					栄養教育概論		開 講 キャンパス	神 埼			
担 当 者					梅 木 陽 子						
開 講 年 次					2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい					栄養教育を実施する際には対象の現状を把握することが不可欠で、その情報を収集と分析、評価した上で教育計画を立てて実行する必要がある。また、その教育効果の評価も必要である。よって、本講義ではこの栄養教育のマネジメントの概略と一連の流れを理解することを目的とする。また、栄養教育マネジメントの段階ごとに必要な理論、方法等についても習得する。						
授 業 の 到 達 目 標					1) 栄養教育の意義と特性について概説できる。 2) 栄養教育のそれぞれの場における栄養教育の意義と実施上の留意点について説明できる。 3) 栄養教育のマネジメントサイクルを理解し、説明できる。 4) 各種食事調査法の調査方法と特徴について説明できる。 5) 栄養教育に必要な資源について説明できる。 6) 評価の種類とその方法について説明できる。 7) 評価結果を教育にフィードバックする方法を説明できる。						
学 習 方 法					講義						
テキスト及び参考書等					テキスト：栄養教育論、丸山千寿子（南江堂）						
評 価 基 準 ・ 方 法					到 達 目 標						
					知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験					◎	◎				75	
小テスト等					◎	○				10	
宿題・授業外レポート					○	○	○	◎		10	
授業態度							○			5	
受講者の発表											
授業への参加度											
その他											
合 計										100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)											
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）											
第 1 週		栄養教育の概念									
第 2 週		栄養教育の場									
第 3 週		栄養教育マネジメント									
第 4 週		栄養教育におけるアセスメント									
第 5 週		情報収集の方法									
第 6 週		食事調査①									
第 7 週		食事調査②									
第 8 週		食事調査③、食行動・食態度の調査									
第 9 週		栄養教育計画(学習目標の設定、カリキュラムの立案)									
第 10 週		栄養教育の方法（学習形態について）									
第 11 週		栄養教育の方法（教材、媒体について）									
第 12 週		栄養教育の実施									
第 13 週		栄養教育の評価（意義、種類、方法）									
第 14 週		栄養教育の評価（評価デザインについて）									
第 15 週		まとめ									
第 16 週		筆記試験									
備 考		事前学習：地域で開催されている健康教室、イベント等への参加や見学を行うことを勧める。 身の周りにある健康教育教材を収集しておく。 事後学習：毎回小テスト（前回講義内容）を実施するので、必ず復習すること。									